

世界とともに発展するSAGANグローバル人材育成事業



留学計画 タイトル	共生社会×地域創生		
大学名等	筑紫女学園大学 文学部	アジア文化学科	学 年 (採用時) 4 年
採用年度	2019年度	留 学 期 間	6ヶ月間 (2019/9/9~2020/2/23)
留 学 国	アメリカ合衆国	留 学 先 機 関	EC NewYork/ Gallery91/NY de Volunteer
事前・事後インターンシップ先機関	NPO法人 地球市民の会		

留学について

目的：人口減少社会において地方は特に市民総活躍社会の必要性が高まると考える。人種・国籍・年齢・性別関係なく尊重し合い、全ての人々が自分自身の個性、強み、能力を活かし活躍できる社会(共生社会)の実現が地域社会の発展に繋がると考えた。異文化が入り交じる街に身を置き、働く・教育を受ける・生活する・地域社会と関わることで共生社会とは何か、その必要性を学び、佐賀に還元できることを探していくことを目的とする。

活動内容：

- インターンシップ3ヶ月間【受入先:Gallery91】
- ・NY NOW(北半球最大の見本市)準備、当日の設営、接客
- ・在庫管理
- ・ECサイト・HP・ポスター作成
- ・路面店での接客(週1)

インターンシップ
NYNOWでバイヤーさんへ対応



- 語学学校6ヶ月間【受入先:EC NewYork】
- ・1週間30レッスン1コマ45分
- ・英会話 文法 単語 Reading Writing等のクラスを受講
- ボランティア運営5ヶ月間【受入先:NY de Volunteer】
- ・週1回ミーティング

語学学校の卒業式



- ・現地企業や地域住民と清掃活動
- ・現地小学生への書道教室
- ・高校生のグローバルスタディツアー企画・準備・運営
- 企業訪問、コロンビア大学学生交流、
- アメリカで活躍する日本人の方の講演会と交流会等
- ・ファンレイジングパーティー準備・運営・支援の呼びかけ

- 言語交換【活動場所:Meet up・コロンビア大学】
- ・日本語のクラスで日本語や日本の文化を現地の人へ教える
- ・日本語と英語を話し言語を学ぶコミュニティへ毎週参加

- 現地調査
- ・アンケート調査
- ・移民の歴史調査
- ・移民受入に関する調査
- ・移民のホスト社会と移民コミュニティへの関わり方の調査

ボランティア運営活動
現地の小学生への書道教室



成果： 留学を通して、共生社会とは異文化や自分と違う立場の人を尊重し合い、共に働き・共に生活し、共に学び合い・共に笑い合える社会であると実感した。

【共生社会実現において必要だと思うこと、私たちにできること】

○異文化を理解するために、多様な人々との交流や学習によって無知を減らしていくこと

ニューヨークは移民の街であり、市民の使用言語や生活文化、習慣や信教ももちろん異なる。相手を否定することは自分自身も否定され、相手を尊重することは自分自身も周りから尊重されることであると身をもって感じた。そして、英語を母語としない子どもたちへの教育制度の整備やヴィーガン向けのレストラン、性別や障害関係なく誰でも使えるトイレなど、社会全体が誰ひとり取り残さない寛容な社会づくりを行っていた。

佐賀においてはニューヨークほど異文化が入り交じる街ではない。異文化交流や社会制度がアメリカと異なる上で、私たちが今からできることは、異文化交流等を積極的に行き新たな価値観や視野を取り入れること、また、無知による差別や偏見をなくすため知識を増やしていくことだと考える。私自身も視野を広げ、様々な社会情勢や社会問題に目を向け、その原因や歴史をこれからも学んでいく。

【佐賀に還元していくこと】

国内事後インターンシップで、地球市民の会様企画のSDGsAcademySAGAに運営兼参加者リーダーとして携わった。日韓の大学生を対象として両国の社会問題についてSDGsを踏まえ議論し、2030年までにできるアクションプランを作成するイベントである。留学で学んだパートナーシップや、相手の意見、価値観、考えを尊重し合うことを活かし、参加者メンバーが自由に自分の言葉で意見が出せるようリーダーとしての役割を行った。今後は、佐賀を中心に共生社会を推進していけるよう活動を続けていきたい。

伝えたい事：後輩たちへ

コロナ禍で、留学の中止やオンライン授業への変更など、思うような学校生活を送れていない方が多くいらっしゃるかと思います。困難な状況でも今できること、やりたいことに正直にやりかたを変えたり工夫したりしながらどんどん挑戦していきましょう。今しかできないこと、今だからできることが必ずあります。ピンチも成長のチャンスと見方を変え何かしら行動することで、その経験が今後の人生を豊かにしてくれると思います。何事も楽しみましょう！

伝えたい事：支援企業の皆様へ

国内インターンシップを受け入れてくださいました地球市民の会様をはじめとする支援企業様、ご協力いただきました皆様、改めてありがとうございました。留学の経験は私自身の価値観や信念の形成、自信に繋がっています。今後は佐賀を拠点に、「ひとりひとりを認め合い、個性や能力を活かして活躍できる地域社会」の実現に貢献できるよう自分にできることを模索し行動していきます。今後、社会に出て何かしらの形で皆様に恩返しや佐賀県の発展に還元していける人材になるため日々精進して参ります。

事前・事後インターンシップ

受入機関名 NPO法人 地球市民の会

期 間
事前： 2019/8/19 ～ 8/29 (7日間)
事後： 2020/10/15 ～ 10/29 (13日間)

内容： **【事前】** ・在住外国人支援の情報収集 ・全国の多言語支援ツールまとめ作業
・タイアーチェリーパラリンピック代表選手の必勝祈願佐賀ツアータイムスケジュール作成
【事後】 ・タイフェスタの設営対応 ・小学生対象のSDGsリベラルアーツ授業参加
・多文化共生事業、奨学金事業、ミャンマー事業サポート
・SDGsAcademySAGA運営兼参加者リーダー